

## ハンディキャップ委員会活動へのご協力のお礼とお願い

2021年9月 吉日

障がいを持つ方々のスキーをはじめとするウィンタースポーツを支援してゆく目的のために発足したハンディキャップ（以下HC）委員会は22年目を迎えます。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大により、参加者・ボランティアの方々への感染防止対策の困難さを考慮し、①HCセミナーⅠ、Ⅱ ②障がいをもつ人のためのスキー教室・1月五竜 ③3月車山 ④野沢チャレンジカップスキー大会・4月 の4つの行事すべてが中止となりました。

新型コロナウイルス感染拡大の状況は日々変化していることや、ワクチン、治療薬等の状況が不透明ではありますが、感染防止対策を整え、スキー場や宿泊施設等と協力をしながら、行事が実施できるよう、準備を進めています。

実施の可否については、SAK スキー連盟ホームページでお知らせをいたしますので、確認をよろしくをお願いします。

これまでの実践で得られた貴重な経験を踏まえ、障がいを持つ方へのサポート法【ハンディキャップセミナー】は、今年度から委員会メンバーが講師となり実施いたします。また、新型コロナウイルス感染防止のため、1月の五竜1行事（白馬五竜スキー場）のみの開催とします。

また、チャレンジカップスキー大会については、12月の鹿沢大会についてサポートをいたします。これらの事業を実施するにあたっては、参加者の実費負担を原則とはいたしますが、セミナーや行事運営、委員会諸活動、ボランティアへの謝礼その他に多くの資金が必要となってまいります。

今年度（令和3年度）も、1月五竜のスキー教室と3月車山のスキー教室については、スポーツ振興くじ（toto）助成金の交付申請が認められましたので、前年度と同様充実した内容で運営が出来るものと考えております。

今年度もHCセミナーへのご参加、ボランティア登録及びスキー教室のボランティア参加もあわせてよろしくお願い申し上げます。

（公財）神奈川県スキー連盟

ハンディキャップ委員会